

信州飯山 岩木場 しびたれ岩

令和2年7月16日改訂版 RCT/K

今春、未だ残雪のある小菅山南面でボルダーを探していたところ、「岩木場」という沢筋(大きな窪)の中腹に帯状の岩場が見えたので行ってみる。ガラ場の斜面を少し登ると、小規模ながら湯河原幕岩のような岩場が現れる。前傾壁はほんの一部のみで迫力に欠け、高差は高いところで15m程だが階段状の部分が多く、高難度のラインは期待できないものであった。しかし、岩質は安山岩でしっかりしており、何よりも実家から近いので、短時間でも遊んで来れるということで、体調を整える程度と考えれば、利用価値は高いと感じられた。

その後、時間を見つけて全体の整備と掃除に出かけ、クライミング技術を体得したいという地元の知人も一緒になってトライをした結果、この秋までにそこそこ遊べるエリアとなったので簡単に紹介したい。

岩の名称については、後日、地名関係の資料から「しびたれ岩」と言われていたということが分かったが、地元の方たちには忘れられた存在となってしまっているようだ。

この岩場は、傾斜がなく、易しいルートが多く、トップロープのセットもしやすい。またクラックも何本かあり、NPの練習にも利用できるため、初級者が岩登りを体験するには最適なエリアと言える。

さらに沢筋から少し上がった広葉樹の斜面にあるため風が通りやすく、夏場でも結露が少なく雨後でも乾きが非常に良い。しかしながら豪雪地帯にあるため、12月から3月までの冬季間は利用不可能となる。

アクセス及びアプローチについては、車で飯山市瑞穂地区の県道38号の富田入口から福島集落に登る。福島神社から左に北ノ入林道に入り、棚田を過ぎて少し行った所に左から作業道が入るので、作業道に車を入れて駐車する。他に車が停まっている場合は一段下の棚田に乗り入れることができるが、夏季は草が茂るので鎌を持参した方がよい。林道が荒れて入れない場合は、棚田の上部の駐車場に置いて徒歩となるが、さほど遠くはない。駐車スペースから作業道に入り、沢を渡った先で右に進む。作業道の行き詰まりの杉に「内山部分林(岩木場)」の表示があり、そこから踏み跡に入って、小さなクラックの入った岩から斜面を登ると、まもなく岩場に到着する。駐車スペースから岩場まで10分程である。

グレードに関してはデシマルで表記したが、各ラインほとんど1回のみしか登っていないので、あくまで参考程度である。ルートの質的にはパワーよりもバランス主体である。

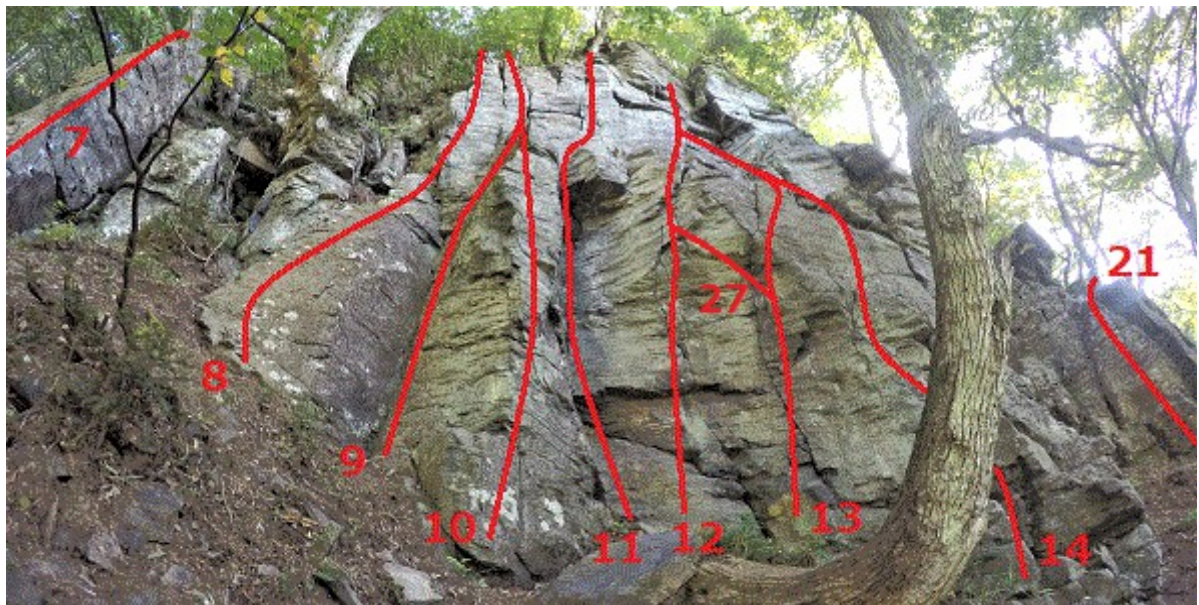
以下説明文中の、「TR」はトップロープ、「B」はボルト、「NP」はナチュラル・プロテクションの略である。

ギアに関しては、ヌンチャクは10本、長めのスリング2から3本、NPはキャメロット#4までを2セット(サイズおよび数は必要に応じて使用)、ストップ1セットがあれば十分である。なお、終了点の何か所かはシャックルを使用しているので、結び変え時のために、環付きピナがあると良い。ロープは、ショートラインが多いが、ピレイの位置などを考慮すると、一応40m程度はあったほうが利便性が高い。



《ルート紹介》

1. 自肅警察(5.10a)B4 本
フェイスを登り2に合流。下部がちょっとフィンガリー。
2. 九巒の風(5.9~5.10a)B4 本
適度なカチとガバが続くフェイス。
3. マスク警察(5.9)B4 本 凹角からフェイス、レッジへ。
4. シンタロー(5.8)B3 本
K・M氏初登 レッジをつないでコーナーを登る。出だしはレッジから上がろうとすると難しい。
5. ツツドリ(5.10b)B3 本 左の小コーナーから入り、左から2本目へ。
6. カッコウ(5.10d)B3 本 1本目は5と共有。カニばさみでフェイスを直上し、2本目で5に合流する。
7. ホトギス(5.10d)B4 本 右から入り、カンテを直上する。



8. 棚田の里(5.8)B5 本 スラブからフェイス。最後は左のレッジに回り込む。
9. 五穀豊穰(5.9)B1 本&NP コーナーから10のラインのレッジに上がり、上部は左上クラックを登る。
10. 松子カンテ(5.10c)B3 本&NP 顕著なカンテを登って、上部はレッジから9の左上クラックを登る。
11. 天下泰平(5.9)NP コーナーからハングを左から巻いてレッジに上がり、上部は右上のフレーク状ホールドを使わずにクラックを直上する。
12. 神変大菩薩(5.11d)B5 本 フェイスから上部はスラブ。ムーヴが面白い。
13. 小菅権現(5.11a/b)B5 本 フェイスからレッジへ。上部はスラブ。
14. 十所権現(5.8)B4 本&NP 易しいフェイスから13のレッジへ。ボルトだけでもリードできるが、

ランナウトが不安なら NP も使用した方がよい。レッジ右の大きな浮石は多分大丈夫だが触らない方がよい。



- 15. 無名 (5.8) B1 本&NP クラックから 16 の最後のボルトに合流する。途中左の浮石は使わないほうがよい。
- 16. 祝飯高甲子園 (5.11a) B4 本 フェイスを直上。
- 17. 無名 (5.9) NP ワイドクラックから上部は水平クラックに NP を取って直上。木のスリングを使用する。下の大きな浮石がちょっと不安だが多分大丈夫。
- 18. プレグジット (5.10b/c) B5 本&NP フェイスからテラスへ。上部は苔の多いフェイスなので、下部のみのトライもできる。
- 19. コレグジット (5.10d) B5 本&NP フェイスからテラスへ上がり 18 に合流する。
- 20. 無名 (5.7) B2 本&NP 右のワイドから最上部で 18 のボルトに合流。掃除不足。
- 21. 精霊馬 (5.11c) B3 本 右の岩の側壁にあるショートルート。2 本目上が核心で、ムーヴは面白い。

- 22. ゲリラ豪雨 (5.9) B1 本&NP
コーナークラック。プロテクション
が取りにくい。
- 23. 線状降水帯 (5.10a) B1 本&NP
きれいなクラック。最上部が核心。
- 24. 無名 (5.9) NP 下が切れたクラックからレッジへ。以下 2 本のクラックを含め未だ掃除不足。
- 25. 無名 (5.7) NP ガバからレッジへ。
- 26. 無名 (5.8) NP ガバからレッジへ。
浮石注意。
- 27. プロジェクト 未トライのリンクライン。

